

もしかしたら・・・

こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害

・・・かもしれません

お子さんが、事故や病気のあと、こんなことに
困っていませんか？

- 物忘れをする
- 内容が理解できない
- 集中できない
- 取り掛かれない
- しつこい
- すぐにキレル
- 疲れる
- 友達関係が上手くいかない

事故や病気による脳損傷のあと、以前と変わった様子は
ありませんか。

早期診断・早期支援が大切です。
チェックリストで確認してみましょう。

・脳のケガや病気をしたことがある
はい・いいえ → 高次脳機能障害ではありません

「記憶障害」かもしれません

- 友だちや担任の名前、日付を覚えられない。
- 何度も同じことを言ったり、聞いたりする。
- 自分の発言を覚えていない。

「注意障害」かもしれません

- 集中力がなく、すぐに飽きて目についたものを触ったり、席を立ったりする。
- 小さな音や周囲の動きに反応し、気が散りやすい。
- 高学年でも同時に2つのことをすると混乱する。
- 話の内容が飛ぶ、要領を得ない話になる。

「遂行機能障害」かもしれません（高学年になると目立つ）

- 急な予定の変更があると混乱する。
- 作文や感想文をどう書いたらよいか分からない。
- いま何をしたらよいか分からず、つど声掛けが必要。
- 段取りよく作業ができない（計画的に行動できない）。

高次脳機能障害とは？

交通事故や脳の病気などで、脳が損傷されたことによって起こる障害です。

様々な症状により日常生活がしづらくなりますが、身体の障害と違い外見上分かりにくく、また本人も自覚していないことが多く、家族や周囲の人からも理解されにくい障害です。

（発達障害や認知症とは異なります。）

「人で悩まず、お気軽にご相談ください。」

主な原因

- ・ **脳血管障害**：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など
- ・ **外傷性脳損傷**：交通事故、転倒、転落、スポーツ事故など
- ・ **その他**：脳炎、低酸素脳症、脳腫瘍など

相談連絡先

〒003-0023
札幌市白石区南郷通7丁目北5番29号
スタジオセブンビル2F
NPO法人 Re～らぶ
TEL (011) 868-7844
FAX (011) 868-7866

「社会的行動障害」かもしれません

- やりたいことを我慢することができない。
- 怒りやすい、キレやすい。
- 気持ちの切り替えができず、しつこい。
- 学校で頑張りすぎて疲れてしまい、家庭では機嫌が悪く家族に当たる。
- ことばや振る舞いが年齢よりも幼い印象がある。
- 以前より幼稚になった。できていたことができなくなった。
- 支度に時間がかかるようになった。

<易疲労性>

- 直前まで元気なのに、突然疲れが出て眠ってしまう。
- あくびが出る、ハイテンションになる等、疲れの兆候に気がつきにくい。
- 頭痛がする（天候や行事の前にその傾向がある）。
- できないことや意に沿わないことを提示されると、極端に疲れてしまったりイライラしたりする。

<意欲の低下>

- やる気がでない、物事を始めるのが遅い。
- 考えが浮かばない。

<自己認知の低下>

- イメージができず、体験してみないと分からない。
- 自分は何事も支障なくできていると思っている。

<保続>

- 一度始めると、時間になってもやめられない。
- 話しや行動など、途中で変更することができない。
- 一度覚えたことに対する修正が効かない。
- やっていることが終われない。